

農業の話をしようよ！

JA前橋市のキャッチコピー
笑顔と信頼 広げよう「ありがとう」の気持ち

2026
2

あぐりーとーく



ミニトマト（Candy Pop）を手に笑顔を見せる森村さん▲

～食卓に彩りを 魅力あふれる農業～

地域農業の担い手 富田町の森村志保さん

《表紙紹介は2ページ》



▲イメージキャラクター
「じゃじゃゴン」

ホームページをリニューアルしました！
ホームページアドレス
<http://www.jagunma.net/maebashi/>



きさらぎ 如月/寒さはますます厳しく、衣を重ね着する衣更着月の意 花暦/梅…高潔 誕生石/アメジスト…誠実・心の平和

J A前橋市公式 Instagram を始めました！
イベントの告知など様々な情報をお届けします😊



産直ゆうあい館 Instagram 更新中！
フォローやいいねをお願いします😊



農業は私たちの食卓や生活を支える重要な仕事です。このコーナーでは、地域の農業を支える生産者を紹介します。

富田町の森村志保さん（31）は、家族5人でホウレンソウ25㍏やトマト0.2㍏、米1.3鈔など多彩な農作物を栽培しています。

小さい頃からトマトの選別作業などを手伝い、農業を身近に感じてきた森村さん。大学院では植物を研究し、卒業後に祖父が大切に管理してきた圃場や農機具を受け継ぎ、就農して6年目を迎えます。



▶ミニトマトのなり具合を確認する森村さん

特にトマト栽培にこだわりを見せている森村さんの圃場には、10品種もの

色とりどりのトマトが実ります。

水やりや温度管理に気を配り、適切な間引きを行うことで、品質の良いトマトを生産。糖度や酸味、食感や形の違いを楽しんでほしいと、それぞれのトマトの特徴を熱心に語ります。



▶順調な成育をみせるミニトマト

また、料理が趣味の森村さんは、収穫した野菜をよりおいしく味わえるレシピを日々考案しています。

ミニトマトのおすすめの食べ方として「そのまま食べるのはもちろん、湯剥きしてプロセッサーなどで細か

くしたものをカレーに加えるとコクが増します。ピクルスにしても美味しいですよ」と笑顔で語ります。



▶収穫したトマトの袋詰め作業

森村さんは、JA前橋市産直部会の役員として会計を務め、産直ゆうあい館に毎日新鮮な野菜を出荷するとともに、運営にも寄与しています。農業まつりや感謝祭などのイベントに積極的に参加し「直接お客様と触れ合い、野菜の魅力を伝えられることが嬉しい」と話します。

また、森村さんは常に新たな品種や栽培方法などの情報を収集するため、積極的に花木センターなどに足を運び、資料集めやホームページの確認を欠かしません。興味を持った品種に挑戦することも楽しみみの一つです。

今後の目標として「天候や気象状況に応じた作付けを追求したい。見た目に鮮やかで味・品質にこだわった野菜づくりを目指し、消費者の皆様にも楽しんでもらえたら嬉しい」と意欲を語りました。

最後に、新たに農業を始める方へのアドバイスとして「最初は思うような結果が出ないこともあるかもしれませんが、諦めずに挑戦を続け、自分に合った方法を見つけてほしい。先輩農家の方々からの学びを大切に受け継ぎ、一緒に地域農業を盛り上げていきましょう」とエールを送りました。



▶出荷するトマトと各種トマトの特徴を記した手作りのポップを手にする森村さん

**農業経営における物価
高騰対策支援に関する
要望書を前橋市へ提出**

J A前橋市は1月6日、前橋市役所で農業経営における物価高騰対策支援に関する要望書を細谷精一副市長、猪俣理恵副市長へ提出しました。



▲細谷副市長、猪俣副市長へ要望書を提出する矢端組合長と岡庭副組合長

要望書提出の背景として、肥料などの生産資材費や燃料・電気料金などの生産コストは増加の一途をたどっており、農畜産業の生産現場の厳しさは増えています。一方で、農畜産物価格に十分反映できず、生産者の営農継続が危ぶまれている実情があります。さらに、食料安全保障の観点からも、農畜産業の維持は極めて重要であり、安定的な生産体制の確保が求められています。

この状況を受け、J A前橋市は、生産現場が危機を乗り越え、持続可

能な農業を実現できるよう、「重点支援地方交付金」を活用した資材価格高騰対策や、農畜産物の消費拡大対策など、農業分野の緊急対策を早急に検討・実施することを強く要望しました。

また同日、富田公隆市議会議長と藤江彰市議会副議長のもとを訪問し、要望書を提出するとともに要望内容について意見を交わしました。

J A前橋市は、今後も農業者の経営安定と地域農業の持続的発展に向けて、行政や関係機関と連携しながら取り組みを進めていく方針です。



▲富田市議会議長、藤江市議会副議長と意見を交わすJ A役員

永年勤続役員表彰

※敬称は略させていただきます。

◇永年勤続 35年

- 宇野 仁 (中部営農センター)
- 横山敏紀 (監査室)
- 山田久男 (販売部)
- 青木正行 (北部営農センター)
- 星野悦美 (生活部)
- 飯塚治夫 (農機自動車燃料部)



▲永年勤続35年の部表彰

◇永年勤続 30年

- 狩野英之 (営農部)
- 岩丸貴宏 (販売部)
- 阿久澤秀和 (中部営農センター)
- 岡田 誠 (営農部)
- 峰岸 剛 (大胡支所)
- 前原雅志 (東部営農センター)

◇永年勤続 20年

- 網島 聡 (中央支所)
- 棚本文栄 (中央支所)
- 椋澤浩孝 (北部支所)
- 塚田太郎 (東部営農センター)
- 須永悠介 (営農部)
- 小澤健太 (南部支所)
- 平沢貴之 (営農部)
- 茂木美佳 (中央支所)
- 相川貴之 (東部営農センター)
- 塚本征起 (東部営農センター)



▲永年勤続30年の部表彰

**年金友の会 親睦ゴルフ大会、
短歌・俳句・川柳大会 表彰式**

J A前橋市年金友の会は1月9日、J A前橋市の本所で、「第17回J A前橋市年金友の会親睦ゴルフ大会」および「第28回群馬県J A年金友の会短歌・俳句・川柳大会」の表彰式を行いました。

当日は、J A前橋市年金友の会役員や理事、J A役職員31人が参加。優秀な成績を収めた入賞者へ、J A前橋市年金友の会の加藤清士会長と矢端幹男組合長がトロフィーや表彰状、記念品を贈呈しました。

第17回J A前橋市年金友の会親睦ゴルフ大会は、昨年11月19日に川原町の前橋ゴルフ場で開催され、茂木一さん（大胡地区）が優勝、長谷川幹夫さん（粕川地区）が準優勝、木村光明さん（中央地区）が第3位に輝きました。



▲左から長谷川さん（準優勝）、茂木さん（優勝）、木村さん（第3位）

また、第28回群馬県J A年金友の会短歌・俳句・川柳大会では、総勢510作品の中から、見事3人が入賞しました。



▲左から矢端組合長、笠井さん（入選）、吉田さん（特別賞）、横室さん（優秀賞）、加藤会長

〈短歌の部・入選〉
入院を承諾したが不安あり

炊事洗濯メモする夫
笠井初子さん（西部地区）

〈俳句の部・特別賞〉
草引きの出来るしあわせ農に生く

吉田百代子さん（粕川地区）

〈川柳の部・優秀賞〉

米不足出番なくした備蓄米

横室久雄さん（南部地区）

**J A前橋市青年部協議会と
J Aたかさき青壮年部が高崎駅で
農産物直売イベントを開催**

J A前橋市青年部協議会は1月17日、高崎駅構内でJ Aたかさき青壮年部と合同で農畜産物や加工品の直売イベントを行いました。

当日は、両部会員が協力し、駅を利用する多くの方々に前橋産・高崎産の新鮮な農畜産物をPR。ブースには、ネギやブロッコリーなどの旬の青果物をはじめとした地元ならではの多彩な商品が並び、多くの駅利用者から立ち寄るなど、好評を博しました。



▲高崎駅構内で農産物をPRする
J A前橋市青年部協議会員とJ Aたかさき青壮年部員

**祝賀会「はたちのつどい」
これからの活躍に期待**

J A前橋市は1月13日、本所で祝賀会「はたちのつどい」を開きました。

二十歳を迎えた職員4人を祝福し、J A役員から記念品が贈呈されました。職員はそれぞれの抱負を語り、飛躍を誓いました。



▶新成人を迎えた職員とJ A役職員

《二十歳を迎えた職員》

※敬称略、（ ）内は所属部署

・松村 莉奈（桂萱支所金融課）

・宮内 蓮（西部支所金融課）

・伊藤 裕司（南部営農センター）

・小暮 圭佑（東部営農センター営農販売課）

自己改革実践レポート

全体戦略『農業者の所得増大・生産拡大に向けた取り組み』

JA前橋市は12月23日、JAアグリサポートセンターで『令和7年度露地ナス新規生産者実績検討会』を開きました。営農部生産振興課の企画運営のもと、新規露地ナス生産者7人を迎えた令和7年度の振り返りと次作に向けての意見交換を目的に行いました。

当日は、生産者や中部農業事務所、JA職員合わせて9人が参加。中部農業事務所担い手園芸課の今泉日菜技師が、今季の気象経過や病害虫の発生状況について「記録的な猛暑や少雨による乾燥が続き、ハダニ類・チャノホコリダニの発生、草勢低下が見られた。また、ボケ果の発生やオオタバコガ、カメムシ類による果実の食害も見られ、収穫果実の品質維持が厳しい傾向だった」と総括。一方で、切り戻し剪定や適期防除など、適正管理できた圃場は収穫成績を上げる生産者も見られたと報告しました。

また、毎月の圃場巡回時に撮影した写真をもとに、生産者ごとに課題や対応策について振り返りを実施。さらに、振り返りシートを活用して定植準備や整枝、草勢管理、病害虫防除など各作業工程における反省点や次作に向けての取り組みについて意見交換を行いました。JA職員からは、主要病害虫や農薬の使い方について詳しく説明があり、参加者らは知識を深めました。

参加者は「初めての栽培で試行錯誤の1年であったが、手厚い支援に感謝。今作の課題と対策を踏まえ、次作ではより良い作付けを目指したい」と意欲を見せました。

JAはナスを野菜重点8品目の1つに位置づけ、生産振興に力を入れており、今後も露地ナスの栽培技術向上を目的とした巡回指導や研修会を継続実施する方針。品質維持と収量確保を両立させ、安定生産を目指します。

なお、2025年の出荷量は約1,738 t の出荷と、前年を約10.9%上回りました。



▲露地ナスの作付けを振り返り、意見を交わす参加者



桂萱女性部



南部女性部



総社女性部



東女性部



芳賀女性部



清里女性部

J A 前橋市各地区女性部は11〜12月に様々な講習会を実施し、部員同士交流を深めました。6〜8ページにかけて活動の一部を紹介いたします。



富士見女性部



木瀬女性部



大胡女性部



宮城女性部



柏川女性部

しめ縄づくり講習会



元総社女性部



上川渚女性部



前橋女性部



荒砥女性部



▲エダマメ栽培の肥料について説明する関係者

また、種苗メーカーからはエダマメの品種と特性の説明が行われ、参加者は栽培管理方法から品種選定についての理解を深めました。

西部営農センターの
エダマメ栽培講習会

JA前橋市西部営農センターは1月15日、同センターでエダマメ栽培講習会を行いました。

当日は、2回に分けて開催し、生産者や関係機関、JA職員など38人が参加。県中部農業事務所担い手・園芸課の職員が講師を務め、次作のエダマメ栽培における作付け前のほ場水分と地温の確保や土壌分析に基づいた適切な施肥管理の重要性、育成期間中の乾燥対策、高温・強風対策、降雹などの気象災害対策や病害虫対策について具体的に説明しました。

また、令和8年度リンゴ病害虫防除歴の変更点や留意点について、薬剤の希釈倍率の変更やハダニ類対策強化のための薬剤変更などを説明。防除適期が早まる傾向にあることや、在庫農薬の使用期限遵守や適用確認の徹底を呼びかけました。



▲リンゴ防除について熱心に耳を傾ける参加者

JA前橋市果樹部会の
リンゴ防除講習会

JA前橋市果樹部会は1月13日、JAアグリサポートセンターでリンゴ防除講習会を行いました。

当日は、生産者や関係機関、JA職員が参加。令和7年度リンゴ栽培の振り返りと、生理障害や病害虫の発生条件や今後の対策について詳しく解説が行われました。

産直ゆうあい館は、今後も多彩な商品を取り揃え、安全・安心で新鮮な地場産野菜の魅力を発信するイベントを企画していく予定です。



▲来客者で賑わうゆうあい館新春大売出し

産直ゆうあい館の
新春大売出し

産直ゆうあい館は1月10日、新春の大売出しを行いました。

大売出しのイベントとして、前橋産の新鮮な野菜や卵が入ったお得な福袋を販売。来場者から好評を博し、100袋用意された福袋は、開店から15分ほどで完売しました。

ATM 営業終了のお知らせ

平素はJA前橋市に対し格別なるご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

このたび、JAファーマーズ朝日町店ATMコーナーは令和8年2月27日(金)AM11:00をもちまして営業終了させていただきます。

組合員をはじめ地域の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますこと深くお詫び申し上げます。

今後は近隣店舗ATMまたは提携ATMのご利用をお願いいたします。

引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

【近隣ATM】

- ・ JA前橋市桂萱支所ATM
- ・ JA前橋市前橋支所ATM
- ・ ベイシア前橋モール店ATM
- ・ けやきウォーク前橋ATM



原材料の大豆・米は100%国産を使用しています

JAおすすめの みそ

国産愛用

大豆と米は
100% 国産

密生ロープマーク品はJAグループの商品です。国内製造。

写真はイメージです。

完成品 タイプ

すぐ召し上がれます

国産大豆・国産米を100%使用し、じっくり熟成させたコクと香りが特徴の赤粒の信州味噌です。



7 長熟みそ

10kg
(税込価格)

6,980円



8 長熟みそ

750g×4入
(税込価格)

2,860円

自家熟成 タイプ

【お申込み期間】

令和8年3月末まで

仕込みみそは、ひと夏を過ぎた9月中・下旬頃から食べ頃になります。



9 食卓紀行 10kg

(税込価格)

6,580円



10 仕込みみそ (詰替不要) 20kg

(税込価格)

11,270円



11 仕込みみそ (詰替用) 20kg

(税込価格)

10,830円



お申込先

お気軽に右記まで!

- 中部営農センター ☎212-7755
- 東部営農センター ☎283-2502
- 西部営農センター ☎226-1616

- 南部営農センター ☎265-0221
- 北部営農センター ☎288-2522
- 生活部 ☎261-3006

組合員の皆様へ

お家でお困りなことは、ありませんか?

暮らしのことならまずはJAにご相談ください!



ご相談につきましては、お近くのJAまでお問い合わせください!!

JA前橋市

- 東部営農センター ☎283-2502
- 西部営農センター ☎226-1616
- 中部営農センター ☎212-7755
- 南部営農センター ☎265-0221
- 北部営農センター ☎288-2522
- 本所 生活部 ☎261-3006



LINE

おためし企画実施中!!

LINEを使って、クーポンやお得な情報などをお届けする「おためし企画」を実施します。

実施期間

令和8年
1月13日
↓
令和8年
6月30日

初回アンケート回答で 200円クーポンを プレゼント!

●クーポンはJA前橋市ゆうあい館またはJAファーマーズ朝倉町店、朝日町店で利用できます。
※クーポンは令和8年2月28日までにアンケート回答いただいた方に配布させていただきます。

●対象店舗



お友だち登録はこちら

LINE友だちだけのお得なクーポンや
前橋エリアの情報を発信します!

QRコードを読み込むかID検索
からお友だち追加してください。

ID: jazennoh_maebashi



●対象店舗：JASS-PORT前橋、JAファーマーズ(朝倉町店・朝日町店)、JA前橋市ゆうあい館

本アカウントはJA全農の実証実験の一環でJA前橋市と協力し運用しています。実証期間は令和8年1月13日～令和8年6月30日までです。
問い合わせ先 JA全農：03-6271-8340 JA前橋市：027-261-3006





①施工床面積121.96坪の当社施工例です。②延床面積60.48坪の当社施工例です。①～③写真はイメージです。一部オプションが含まれます。

JA前橋市組合員様向け

～間取りフリーの注文住宅～

住友不動産ハウジング 特別パッケージ

埼玉北関東事業所限定

2026年3月31日(火)までにメーカー決定いただいた方

特別価格

2階建 平屋
延床面積 32坪 延床面積 30坪

2,930 (税抜) 万円 (3,223 (税込) 万円)

増坪オプション
1坪増えるごとに
税抜90万円
(税込99万円)

特別価格に含まれるもの〈2階建・平屋共通〉※上限金額を超える場合はお客様のご負担となります。

屋外給排水工事費
標準工事費88万円(税込)まで

ガス工事費
標準工事費44万円(税込)まで

照明器具 55万円相当(税込)
※当社指定品となります。

設計料
110万円(税込)まで

長期優良住宅申請料
13.2万円(税込)まで

建築確認申請料
16.5万円(税込)まで

【特別パッケージ内容】●埼玉北関東事業所限定となります。●2026年3月31日(火)までにメーカー決定いただいた方。●本広告記載の建物総額には以下の内容は含まれません。(解体工事費・外構工事費・地盤改良工事費・空調工事費・浄化槽設置工事費・敷地調査料・諸登記費用・ローン諸費用・火災保険料・太陽光発電・蓄電池の本体価格および設置工事費(リース代)他税金および本広告に記載のないもの)●防火地域、準防火地域、旗状敷地、高低差のある土地、傾斜地、立地条件、プラン等によっては工事費に差額が生じる場合があります。●エリア、立地条件などによっては特別価格を適用出来ない場合があります。●他のキャンペーンおよび提携割引との併用について、詳しくはお問い合わせください。●掲載の写真はイメージです。一部オプションが含まれます。

●お問合せ・申し込みは

JA前橋市 生活部 資産相談課
TEL:027-261-3006

●施工

JA全農 群馬施設農住事務所

住友不動産ハウジング
注文住宅事業本部 埼玉北関東事業所 北関東エリア

これから養蚕を始めようと考えている方へ

第11期

「ぐんま養蚕学校」受講生募集



群馬県では、養蚕担い手の確保に向けて、「ぐんま養蚕学校」を開講しています。
令和8年も養蚕に関心がある方を対象に開講します。

1

ぐんま養蚕基礎講座

・養蚕の基本技術・蚕糸情勢・支援策他

令和8年 3月13日(金) 午後1時30分～4時



2

ぐんま養蚕学校 ～蚕糸技術センター研修～

・飼育実習・桑園管理・理論学習

令和8年 5月下旬～6月中旬(予定)

詳しくは、令和8年3月頃に蚕糸技術センターホームページをご覧ください。



3

養蚕農家実践研修 ～農家研修～

・夏(7月)、晩秋(9月)、初冬(10月)のいずれかの蚕期

※上記②を受講し、県内で1～2年以内に養蚕参入を目指す方が対象



費用 無料

場所 群馬県蚕糸技術センター 本館2階会議室、蚕室

申込期限 ①ぐんま養蚕基礎講座 令和8年3月6日(必着)

②ぐんま養蚕学校 令和8年3月頃ホームページ掲載

申込方法 はがき、ファクスまたは電子メールで、住所、氏名、年齢、電話番号、養蚕参入の動機をお知らせください。

お申し込み・お問い合わせ先

群馬県蚕糸技術センター 技術支援係

〒371-0852 群馬県前橋市総社町総社2326-2
TEL 027-251-5146 FAX 027-251-5169
メールアドレス sanshigise@pref.gunma.lg.jp

営農情報

群馬県中部農業事務所

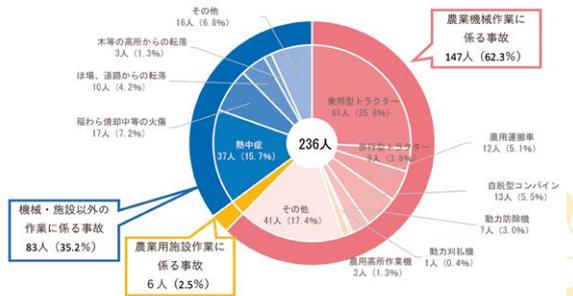
農作業安全意識を高め、事故防止対策を徹底しましょう！

農作業事故は、当事者の経営に与える影響のほか、家族や地域農業への大きなダメージとなります。事故を「自分ごと」として捉え、日頃の作業の中に潜む危険を見つけ、事前に対策を講じることが重要です。

農作業死亡事故の発生状況

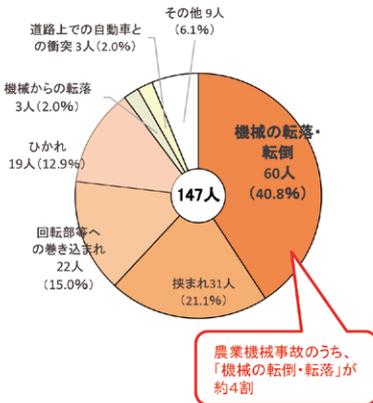
令和5年の農作業事故における死亡者数は、全国で236人、本県では8人が亡くなりました。全国の就業者10万人当たりの死亡事故者は、依然として増加傾向にあり、他産業に比べて高い水準にあります。

要因別の死亡事故発生状況（令和5年）



農作業死亡事故は、機械作業中が最も多く、機種別にみると、「乗用型トラクター」「自脱型コンバイン」「農用運搬車」「歩行型トラクター」の順となっています。

農業機械事故による死亡の要因（令和5年）



事故の要因は、「機械の転落・転倒」「挟まれ」「回転部分等への巻き込まれ」などです。また、夏季の気温上昇に伴う熱中症による死亡も増加傾向にあります（農林水産省調べ）。

農作業安全対策

◇機械の点検・整備、ほ場周辺の確認

作業中の機械の故障は焦りや苛立ちを生み、思わぬ事故へつながります。使用する機械は、事前に使用方法をよく確認し、点検・整備をしてください。また、ほ場周辺に危険な所がないかを確認し、路肩とほ場の境がわかるよう草刈りを行い、危険な所には目印を立てるなどの対策をしましょう。

◇作業に適した服装

袖口、シャツの裾、首に巻いたタオルなどが農業機械に巻き込まれないよう適切な服装をします。作業に応じ、手袋、保護メガネ、マスク、ヘルメット等を着用してください。

◇乗用型トラクターの注意事項

ほ場や道路からの転落・転倒による死亡事故が最も多くなっています。安全キャブや安全フレーム付きのトラクターを使用しましょう。また、シートベルトを着用しないと、投げ出されて農業機械の下敷きになるなど、重大な事故につながります。シートベルト及びヘルメットを必ず着用してください。

◇車両へ安全標識を設置

道路走行時には自動車等からの追突・衝突に注意してください。トラクターには、作業機を装着しても後方から見える位置や幅のわかる位置にランプ類を増設し、低速

車マーク」や「反射板」を設置しましょう。

◇道路状況・状態の確認

ほ場への経路は交通量の少ない道を選び、坂道、道路幅、路肩など、トラクターが走行する道路の状況・状態を事前に確認しましょう。特にほ場の進入・退出路は狭く傾斜がきつくなりがちです。全ほ場を点検し路肩などの整備を行いましょう。

◇左右ブレーキの連結ロックを確認

ほ場を出る際や道路走行時での左右ブレーキの連結忘れは、転落・転倒事故につながります。作業終了後、昇降路手前では、必ず左右ブレーキの連結ロックを確認しましょう。

◇作業する上での留意点

作業機等の不具合で、点検・調整をする場合は、傾斜のない場所で、駐車ブレーキをかけ、必ずエンジンを停止してから行いましょう。

熱中症に注意



作業前には体を暑さに慣らし（暑熱順化）、作業中はこまめな休憩と水分・塩分補給を行い、単独作業を避け、ファン付きウェアなどアイテムも活用しましょう。

（中部農業事務所担い手・園芸課

園芸係 中里見信章）

立春・雨水

和文文化講師 ● 滝井ひかる

■ 立春 (りっしゅん) 2026年は2月4日)

二十四節気の立春は節分の翌日。

本来、季節の分かれ目である節分は年に4回、立春・立夏・立秋・立冬のそれぞれの前日にありますが、現在では立春が一年の始まりという考えに基づいて立春の前日のみを指すようになりました。

日照り、黒くなれば雨などど占ったそうです。

■ 雨水 (うすい) 2026年は2月19日)

二十四節気の雨水は、それまで雪が降っていたのが雨に変わる頃。徐々に気温も上がり、田畑の霜や山に積もっていた雪も溶けてせせらぎになっていきます。寒い日が3日続いて暖かな日が4日続く、というような気候が交互に繰り返されるのを「三寒四温」と呼びます。

だんだんと暖かくなり水もぬるんでくる雨水の頃は、梅見の季節でもあります。いよいよ春の農事の準備が始まります。

ちなみに「小春日和」は春が近づく頃に使う言葉と思われがちですが、実は旧暦の10月、晩秋から初冬にかけての春のような暖かな日のことを指しています。



組合員の皆様へ

◆JA前橋市葬祭センター総合受付◆

☎フリーダイヤル

0120-71-0790

365日 (24時間受付対応)

(最寄りの各支所でも承ります。)

JAのペット火葬 ～移動火葬車によるペットの火葬サービス～

長い間一緒に過ごしてきた、大切な家族。もしもお別れの時が来てしまったらすぐに離れてしまうのはあまりにも切ないから、真心込めてお別れのお手伝いを致します。ご火葬プランのご紹介。ご家族様のご要望やご都合に合わせた3つのご火葬プランを用意しています

<p>合同火葬 (※ご返骨不可)</p> <p>専用車にてご自宅またはご指定の場所にお迎えに参ります。その後、合同火葬を行います。合同火葬後のご遺骨は、提携寺院の納骨堂の合祀墓でご供養いたします。</p> <p>14,850円～(税込)</p>	<p>個別火葬 (スタッフによるお骨上げ)</p> <p>専用車にてご自宅またはご指定の場所にお伺い致します。専用車にて個別に火葬を行い、スタッフが骨壺のお骨をお納めし、後日、ご自宅へご返骨いたします。</p> <p>18,150円～(税込)</p>	<p>立会い個別火葬 (ご家族様によるお骨上げ)</p> <p>専用車にてご自宅またはご指定の場所にお伺い致します。専用車にて個別に火葬を行い、ご家族にお骨上げをしていただきます。骨壺のお骨をおさめ、ご返骨いたします。</p> <p>20,350円～(税込)</p>
--	---	---

ペット火葬専用ダイヤル ※夜間(18時～8時)はペット火葬業者で対応します。

☎ **0120-09-1082** ※24時間365日対応致します。

野菜の荷受休業日

☐ ←の日が出荷休みになります。

2月 の休業日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月 の休業日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

みんなの JA

12月末事業実績

総組合員数	24,506 人
(うち正組合員)	9,838 人
貯金総額	2,476億4,425 万円
貸出金総額	774億 318 万円
長期共済保有額	4,381億3,706 万円
農畜産物販売総額	140億8,053 万円
購買品供給額	51億4,631 万円



法務・税務相談日

●法務相談

2026年 3月 **6**日(金)・**13**日(金)
2026年 4月 **3**日(金)・**17**日(金)

●税務相談

2026年 3月**19**日(木)・**26**日(木)
2026年 4月 **9**日(木)・**23**日(木)

…… 各午後2時から本所金融部窓口にて ……

※希望される方は、
前々日までに**JA各支所へ**ご連絡ください。

12月の理事会から

◆審議事項

- ① 令和7年度 第3四半期仮決算の状況
- ② 63歳職員定年延長並びに関連規則・規程の変更
- ③ 令和7年度 上半期監事監査指摘事項に対する回答
- ④ 出資減口の承認

◆報告事項

- ① 各事業の概況と報告
- 12月25日…本所多目的ホール



○令和8年度新規就農者の把握について

新たな就農者に対し、新規就農者激励会を開催し、前橋市新就農者奨励金交付要項に基づく奨励金の交付を行います。

1 対象者

専業で農業に従事する個人経営主又は当該後継者（主として農業収入により生計を営む者）で、次のいずれにも該当する方。

- (1) 令和3年4月1日以降に60歳以下で就農し、5年以上継続して営農する意思がある者
- (2) 前橋市内に住所を有する者
- (3) 営農拠点の全部または主たる営農拠点が前橋市内にある者
- (4) 過去に本市で新規就農者奨励金の交付を受けていない者

2 申込み方法

農業委員会事務局、地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員まで

3 申込み期限

令和8年2月27日(金)まで

【問い合わせ先】

前橋市役所 農業委員会事務局
局農業振興係まで
電話 027-898-6733
(直通)

○第74回前橋市花共進会を開催します

前橋産のハナモモ・ウメ等の枝物や切りバラ、サボテンの展示・販売を行います。花の無料配布（先着100人）やバラの香り体験等のイベントも実施します。

日時 2月19日(木)

展示 11時30分から13時30分

花の無料配布 11時30分から

展示物の販売 14時から（売り切れ次第終了）

販売の抽選券配布 13時30分から14時

販売の入場順抽選 14時

場所 群馬県庁1階県民ホール北側

問い合わせ 前橋市農政課

027-898-6707

